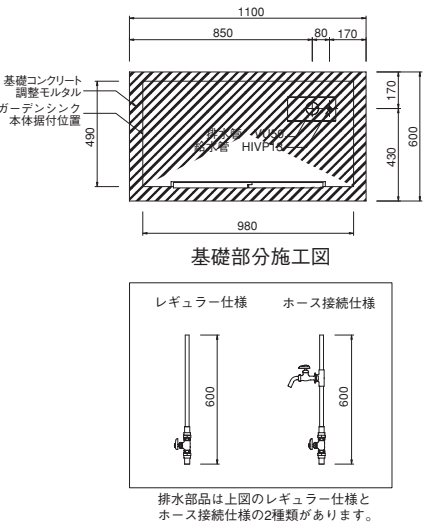
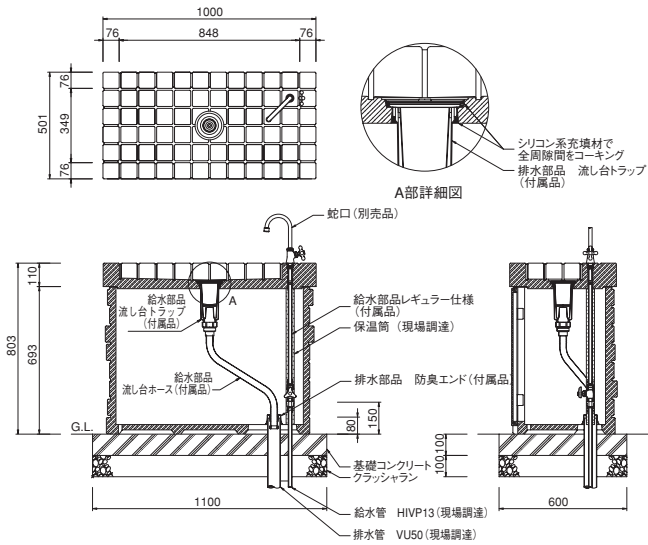


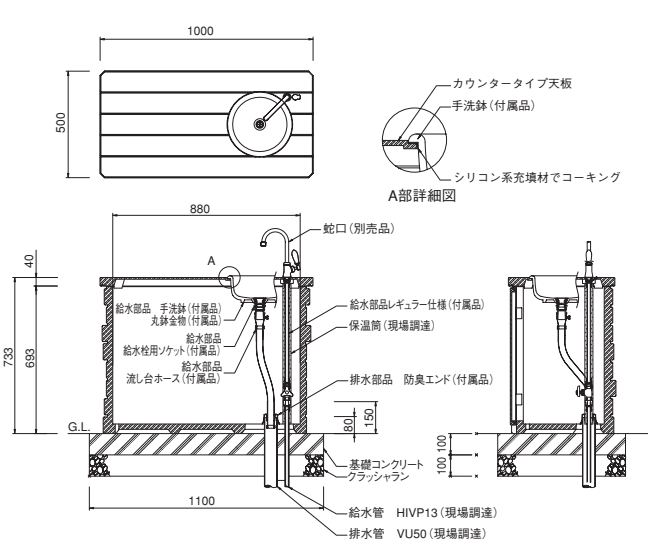
参考施工要領

●ガーデンシンク

ブリックタイプ



カウンタータイプ



施工手順

1. 所定の寸法で床掘りをおこなってください。
2. 施工図を参考に、給水管と排水管の立ち上がり位置（製品付属の配管部品との接続位置）を確認し、調整モルタルの仕上げ面から給水管（HIVP13）は150mm程度、排水管（VU50）は80mm程度飛び出るように配管工事をおこなってください。
3. クラッシュランを敷き転圧をおこなってください。
4. 基礎コンクリートを打設してください。
5. 基礎コンクリートの養生後、調整モルタルで製品設置面のレベルをだしてください。
6. 飛び出ている配管に注意し、ガーデンシンク本体を据えつけてください。
7. ブリックタイプ天板（カウンタータイプ天板）をガーデンシンク本体に載せてがたつきの無い事を確認してください。
8. 給水管と排水管を製品付属の配管部品と繋ぎます。（詳細は以下参照。）
9. ガーデンスINK本体の内側にある給排水管周囲の穴をモルタルで床面と同じ高さになるように埋めてください。
10. 通水テストをおこない、給排水に問題が無い事を確認してください。

[ブリックタイプの場合]

給水管の接続

1. 給水管と、給水部品（レギュラータイプとホース接続タイプのどちらかが付属）、ブリックタイプ天板の裏面に埋め込まれているソケットまでの距離を確認し、配管メーカーの接合方法に従い配管を繋いでください。
2. HIVP用の保温筒を露出してある給水管全体に巻いてください。
3. ブリックタイプ天板の上面に蛇口を取付けてください。

排水管の接続

1. ブリックタイプ天板の排水口に、流し台トラップを取付けてください。
 - ① 流し台トラップの部品がしっかりとしまっている事を確認します。
 - ② ブリックタイプ天板の排水口の溝にそって流し台トラップを差し込みます。
 - ③ ブリックタイプ天板の上面と下面からシリコン系充填材で隙間をコーキングします。
2. 流し台用ホースを流し台トラップに取付け、ホースの先端に防臭エンドを取付けます。
3. 流し台用ホースの先端を排水管に差し込み、防臭エンドをかぶせて固定します。

[カウンタータイプの場合]

給水管の接続

1. 給水管と、給水部品（レギュラータイプとホース接続タイプのどちらかが付属）、カウンタータイプ天板の裏面に埋め込まれているソケットまでの距離を確認し、配管メーカーの接合方法に従い配管を繋いでください。
2. HIVP用の保温筒を露出してある給水管全体に巻いてください。
3. カウンタータイプ天板の上面に蛇口を取付けてください。

排水管の接続

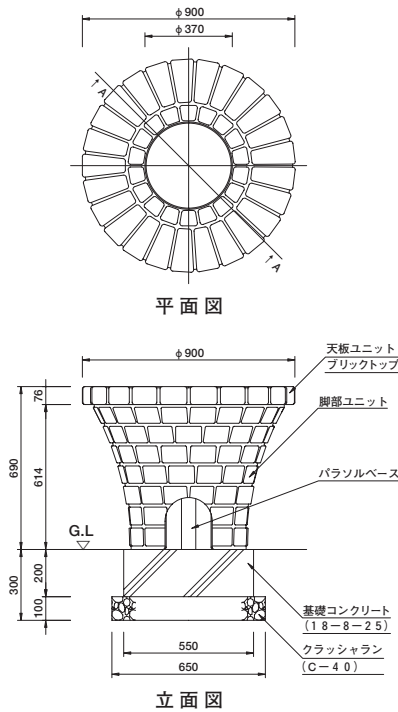
1. カウンタータイプの手洗鉢を落とし込む穴の周囲のふちにシリコン系充填材を薄くのばし、手洗鉢をセットします。
2. はみでたシリコン系充填材を拭きとります。天板表面にシリコン系充填材がつかないように注意してください。
3. 流し台用ホースの先端を排水管に差し込み、防臭エンドをかぶせて固定します。

●その他の注意事項については、製品に付属してある取付・取扱説明書を参照してください。

参考施工要領

●グリルテーブルユニット

ブリックトップ仕様／ODF-GT-B1



ご注意

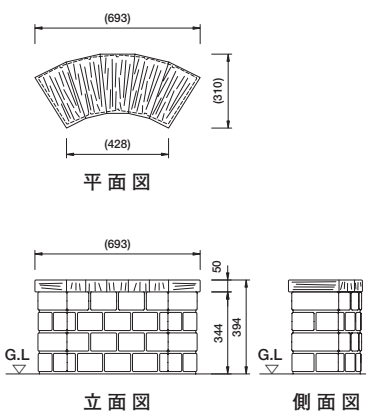
- グリルテーブルユニットに直接炭や火のついたものを入れないでください。
- バーベキューをする場合は付属や市販のコンロをコンロ支持金具の上に載せてご使用ください。
- 火のついた炭や熱い状態のコンロや網、 tongなどが製品にふれないようにしてください。
- コンロの出し入れは余熱がないことを確認し、製品にぶつけないように注意してください。
- コンロはバーベキュー使用後は製品から取り外し、洗浄乾燥を十分におこなって屋内で保管してください。
- グリルテーブルユニットが炭や油で汚れた場合は台所用中性洗剤を使用し、水で十分に洗い流してください。

※その他の注意事項などについては、製品に付属してある取付・取扱説明書を参照してください。

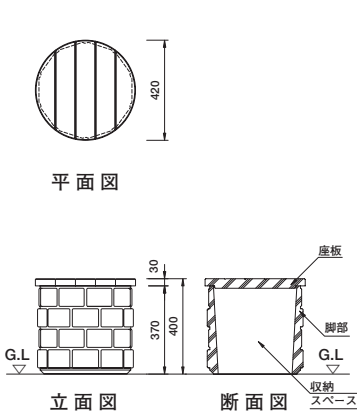
参考施工要領

●シャワープレイス

ラウンドベンチ／PF-B-1



スツール／ODF-S-1



ご注意

- 使用前にあらかじめ湯温を調節し、快適な温度にてご使用ください。
- 防水コンセント用電源には、漏電遮断器を取り付けてください。
- 冬場は凍結が予想されます。凍結対策を徹底してください。
- 水栓金具は別売品です。シャワーフック等は取付位置を確認し、コンクリート用プレスアンカー等を使用して本体に固定してください。
- スツール、ラウンドベンチは別売品です。これらには専用基礎の設置はありませんが、転倒の危険があるため、立ったり、飛び乗ったりしないでください。
- 洗い場立ち面の笠及びスツール・ラウンドベンチの天板部は取り外しが可能となっています。手などを挟まないようにしてください。

※その他の注意事項などについては、製品に付属してある取付・取扱説明書を参照してください。